花だより　№25
2017年　春号

さいわい花だより

さいわい福祉センター　　所長　　水谷　貞子

梅の花が満開で、桜が開花するまでの間、春を呼ぶかのように咲いています。寒暖の差が激しいですが一日一日と暖かい春に向かっていると思うと心も緩みます。

先般、東久留米市の公開自立支援協議会が開催され、夜の時間帯にも関わらず市民の方にご参加いただきご意見を伺うことが出来ました。認知症高齢者の問題や障害者の就労のこと、ヘルパーさんをはじめとする福祉従事者の担い手不足の問題などが話題となりました。どれも深刻で緊急な課題であり、一家族や一事業所で解決出来る問題ではありません。公的な支援の在り方とともにインフォーマルな支援の在り方も含めて考えていく事が必要かと思います。特に福祉事業者やご利用者の視点だけでなく、地域・市民の方々の視点からのご意見を伺うことで、新たな気づきや方向性の転換が出来る場合も多いのではないかと感じます。

センターとして、福祉を取り巻く状況や情報を出来るだけわかり易く発信していくと同時に、地域の方々からのニーズに応えていけるように取り組んでいきたいと思います。

春を告げる花のように、

その場にいるだけで空気が暖かくなる支援をめざして。

発　行：東久留米市立
さいわい福祉センター
責任者：水谷　貞子

〒203-0052　東京都東久留米市幸町3－9－28
TEL　042－477-2711
FAX　042－477-2750
URL　http://www1a.biglobe.ne.jp/saiwai-higashikurume/

地域とさいわい福祉センターのつながり

　さいわい福祉センターは１施設に１３の事業を行っています。「福祉センター」という名前のイメージは障害者の方のための施設と思われがちですが、「さいわい福祉センター」は地域の方のための施設でもあります。もちろん障害のある方の支援をしている事業が多くを占めていますが、施設貸出し事業や地域福祉講座など、多くの地域の方々にご利用して頂いています。その中で、当センターの玄関に置いてある、ご利用者が育てた野菜やクラフト作品を購入して頂いて、モノを介してではありますが、ご利用者と地域の方とのつながりや社会参加を大切に感じております。
また、これ以外にも平成８年の設立当初から地域の学校・支援機関やご近所の方にさまざまなご理解・ご協力を頂き、今日まで安心・安全に努め、地域の方々と成長できたこと、また、この東久留米という地域に当センターが根付くことができたことに、誠に感謝申し上げます。

　この「さいわい花だより」では、

「 **もっとさいわい福祉センターを知ってもらおう！！** 」

ということをモットーに作成しています。
　今号では、地域の方々に参加して頂いた行事や地域にお住まいの方々が育成事業で活動していることなどをいくつかご紹介したいと思っています。

育成事業

かたつむりの会

後述しております、見えない・見えにくい人の為の便利グッズフェアにも出展していただいた**「かたつむりの会（盲人協会東久留米支部）」**さんをご紹介します。会長の大塚さんからお話を伺いました。

「かたつむりの会は 1974 年(昭和 49 年)4 月の当時 30 代～40 代の目の不自由な仲間が 7 人集まってこの会を立ち上げました。

私達が一番困っている読み書き、外出を何とか助けて頂きたいと行政に訴え社協に働きかけたのが最初でした。現在のかたつむりの会の会員は 23 人で、年齢層は 27～88 歳と幅広くなっています。みんないい人達で仲良く楽しく年に数回集まって情報交換をしたり、演奏会、後援会、旅行などしています。趣味活動のコーラスや折り紙教室も 30 年続いています。」

会長の大塚さんは発足時のメンバーの一人で折り紙が上手な方です。

月に何回か保育所や高齢者施設に折り紙を教えに行かれています。

リズム体操教室

毎週金曜日の夕方になると､「こんばんはー！！」と大きな声で挨拶をしてくださる方や、活動が始まるとホールから楽しそうな音楽と笑い声が聞こえてきます。その声を聞くと、「そういえば今日は金曜日だ、リズム体操楽しそうだな」と毎回思います。そんな**リズム体操教室**の勅使河原(てしがはら)先生にお話を伺いました。

「リズム体操教室は前の先生から私に引き継いで 13 年目になります｡ずっと続けている方、途中からの方、同伴のご家族や支援の方含め約 20 名で、金曜日の夕刻 90 分間、音楽に合わせて体操をしています。私の専門、エアロビックの動きをみんなで練習、その後ただ淡々と動くのではなく、音楽の持つ力を借りて体も心も喜ぶような体操を、コンディショニングという専門を活かして呼吸や姿勢に意識を少しでも向けられるようにお伝えしながら、実践しています。

参加された皆さん一人ひとりの抱えているものは、それぞれだけれど、

のびのびと明るい雰囲気の中で、リズム体操を通じて体と心を開放し楽しく

笑顔があふれる時間を集まった仲間と共に過ごせていたら嬉しいです。」

暮らしをもっと便利に。

昨年 10 月に、当センター初めての試みで、**「見えない・見えにくい人の為の便利グッズフェア」**を行いました。当センターのご利用者の方から、日常生活用具を身近な地域で実際に手に取って見て、触って、聞いてみたいというお声を聞き、この便利グッズフェアを開催するに至りました。

開催にあたってご協力いただいた事業所様、関係者様、この場をお借りして御礼申し上げます。

参加して…

当日は、市内外 12 事業所、１当事者団体が出展、75 名の方が来場して下さり、一時、会場内は前に進めないほど大盛況でした。視覚に障害のある方向けに開催されたグッズフェアでしたが、恥ずかしながら、視覚障害のある方のグッズと言えば、白杖と読み上げ機器･･･この２つしか知りませんでした。初めてこのようなたくさんのグッズがあることを知り、新しい文化に触れたかのような感動を覚えました。例えば、リモコンのようなものを洋服やものに向けてボタンを押すと、それが何色かを教えてくれるもの（音声色彩判別装置）や紙幣をお財布型の機械に入れるだけでいくらのお札なのか識別してくれるポータブル紙幣識別機などその他にも、料理をするときに材料のグラム数を音声で教えてくれるスケールなど業者の方が紹介して下さいました。

また、視覚に障害がある方でも囲碁が出来るように、碁盤の線が立体的になっており、さらに碁石も黒と白がわかるように黒石の方には真ん中に突起が付いています。日常的な生活用品以外にも、趣味や余暇のためのグッズに工夫がシンプルかつ分かりやすくなされていて、思わず感心してしまうほどでした。

視覚に障害がある方や見えにくい方にも参加して頂き、実際に手に取って頂くことで初めて出会うグッズなどもあり、「また開催してほしい」「これは便利！」など生のお声を聴くことが出来ました。

今回のこのようなフェアの開催により、私含め、当センター職員が視覚障害のある方の理解を深めることができ、うれしく思います。また、ご来場いただき、実際に手に取ってご覧いただいた方々の日常生活をよりよくする方法が少しでも増えていれば、これもまたうれしい限りです。

（塚元）

当日のグッズを少し！

便利グッズ紹介！

〈グッズ①〉**紙幣が見分けられる！簡単サ印（サイン）ガイド**

お札は千円、５千円、１万円とお札の大きさが異なります。このシートにお札を合わせると、いくらの紙幣か触ってわかるものとなっています。さらに、書類などに署名・捺印する時に場所がわかるよう、署名欄と捺印部分がくり抜きになっています。

〈グッズ②〉**お財布型ポータブル紙幣識別機**

仕組みとしては、内部にカメラがついており、紙幣をカメラで読み取って、音声や振動で知らせてくれます。

〈グッズ③〉**音声色彩判別装置**

色を知りたいものに向けてボタンを押すと、どんな色か教えてくれる装置です。おしゃれを楽しみたい方にも便利です。

また、光度測定機としても機能しており、電気が付いているかどうか、光がある場所など知ることが出来ます。

募集！！

介護人＆ヘルパー募集！！

平日や休日にご利用者と一緒に過ごしたり、外出をしたりしてみませんか？
ご利用者と関わり、地域での繋がりを深めてみませんか？

○介護人

内容：平日や休日にセンターでご利用者と一緒に遊んだり、お話などをして過ごします。
9:00～18:00 の時間の中で、自分の時間に合わせてお仕事をする事ができます。

資格：原則介護職員初任者研修修了者　（旧ヘルパー2 級）
※お持ちでない方もお気軽にご相談下さい！

時給：940 円

○同行援護従業者

内容：視覚に障害をお持ちの方の外出に同行し、ご利用者を目的地までご案内します。

資格：同行援護従業者養成研修修了者、65 歳までの方

時給：1000 円～

地域で暮らす目の見えない方、見えにくい方の外出支援をするヘルパーさんを募集しています。**同行援護従業者養成研修を修了された方**、お手伝い頂けませんか？
「資格は取ったけど、仕事をする機会がなくて…」、「空いた時間しか手伝えないけど･･･」という方も大丈夫です。興味のある方、是非お問い合わせ下さい。

就労移行事業利用者募集！！

一緒に企業就労目指しませんか？

対象者：主に知的障害のある 18 歳以上で、愛の手帳 3 度もしくは 4 度をお持ちの方

内容：企業就労等を目指す障害のある方に対し、作業訓練や職場実習等を通じ、就労のための基礎的な体力や技術、及び社会的マナーなどを習得する訓練をします。
（訓練期間は最長 2 年間）

さいわいニュース！！

～最近、こんな事がありました～

平成 28 年度　成人式！

１月 20 日、さいわい福祉センターにて、成人式が行われました。今年度の新成人は１名で、ご家族、市役所の方ご利用者の方々も正装で参加し、荘厳な雰囲気の中で行われました。ご家族の方がごあいさつの中で、これまで育て、ご苦労なさったこと、幸せだったことなどをお話され、また新成人の方は決意表明をし、中には涙する職員もおりました。緊張感がありながらも、とても感動する式典になりました。新たな門出を一緒に祝うことができ、職員一同とてもうれしく思います。

フットサル大会！

２月４日（土）に東京ドームスポーツセンター東久留米にて、東久留米市長杯ウイングスカップ　フットサル大会が開催されました。当センターからは、就労支援室さいわいに登録されている方で２チーム結成し、参加しました。フットサル初心者の方から高校時代にやっていたという方もいらっしゃり、経験値はバラバラながらも、皆さん一生懸命にボールを追い、楽しんでいるのが伝わりました。残念ながら優勝できませんでしたが、頑張った思い出の一つになりました。

ノースポール
花言葉
「誠実」

結びに…

社会福祉の仕事は対人援助ですが、利用者主体の支援とは具体的にどのように利用者さんと接することなのでしょう？

もう十数年近くも前の話になりますが「福祉はサービス業だから…」と、先輩職員が話をされていたことを未だに思い出します。福祉職員は、人と人との関わり合いの中で利用者さんに福祉サービスを提供しています。しかし、日々の中で私たちは逆に利用者さんの想いや言動から学ぶことも多く、決して一方向ではない双方向の関わりによって成り立っていることに気づかされます。

よく耳にする「自己選択・自己決定」というフレーズがあります。言葉通り自分の事は自分が決める！ということですが、家族や支援者側の都合で物事を進めてしまう傾向があるように感じる時がまだあります。ルーチン化されたサービスをただ提供するだけでなく、ちょっとしたことにも気づけるような感度を持ち、利用者さんの意向や要望を汲みながら一人の人として誠実に向き合う姿勢が利用者支援の基本になるような気がします。

ノースポールの花言葉でもある利用者さんや地域の方々に対する誠実な気持ち、そして謙虚さも忘れず日々努力していきたい、そう思っています。